

准教授 高橋 直己 (水圏生態工学研究室)



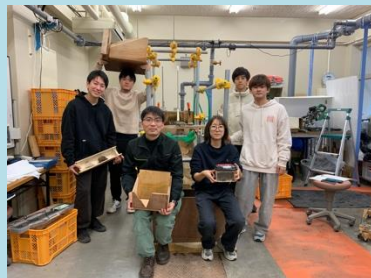
担当科目：
水理学や生態工学に関連する科目を担当しています。

河川や水田地域には、多くの水生動物を育む“ゆりかご”としての役割があります。人の生活と、地域環境への配慮が調和した水辺の環境整備を、水と生物の生態に関する工学の観点から、室内実験とフィールドワークを通して探究しています。



開発中のポータブル魚道(水生動物の通り道)

河川・水路整備により生物が移動困難になった箇所を設置することで、移動環境を改善できます。フィールドワークでは、地域の人々と一緒に活動しながら、技術を磨いています。



サケ・マス類が利用可能なポータブル魚道

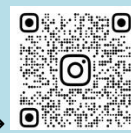
<https://youtu.be/AH6qMucTTo8>

↑サケやカラフトマスの遡上の瞬間をご覧ください。



現場に設置されたポータブル魚道とそれを利用して遡上するアユ

アユの遡上の瞬間をご覧ください。→



Instagram

https://instagram.com/takahashi_lab.2013

↑研究室の活動やさまざまな水生動物の移動をご覧ください。